

# 2050年の 公立劇場

シンポジウム  
と  
特別セッション

2050年に日本の人口は1億人を切ると言われている。  
遠くない未来に向け、私たちは、今ある公立文化施設を継承することができるのか？  
そして、実践者や研究者は何ができるのか？

2024年 **7月13日(土)**  
10:30~18:00

特別セッションI 「名古屋都市圏からの文化発信」

愛知芸術文化センター  
12階 アートスペースA

特別セッションII 「創造空間としての公立劇場」

シンポジウム 「公立劇場のサステナビリティ」

参加費：非学会員 1,000円(7月13日(土)のみ) ※詳細は裏面をご覧ください。

- 学会員になると、予稿集・フルペーパーをダウンロード、当日の録画を視聴することができます。
- 7月14日(日)9:20より18:05まで、アートスペースEF・G・Hにて研究発表と討論会も予定しております。  
詳しくは本学会ウェブサイトをご覧ください。

詳細・申込みは  
コチラ▶



<http://www.jace.gr.jp/>

主催：文化経済学会<日本>/愛知県芸術劇場(愛知県文化振興事業団)  
問合せ：文化経済学会<日本>

〒170-0013  
東京都豊島区東池袋2-39-2-401 (株)ガリレオ 学会業務情報センター内  
E-MAIL: g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp

後援：公益社団法人全国公立文化施設協会/劇場、音楽堂等連絡協議会  
協力：クリエイティブ・リンク・ナゴヤ



文化経済学会<日本>  
Japan Association for Cultural Economics

1992年3月28日、文化および芸術に関する社会・経済的問題の研究促進を掲げ、その分野にたずさわる研究者、実務者等による研究成果の発表と相互交流、文化に関する系統的な社会・経済学的研究の発展と教育の普及に資することを目的として発足。会員数450名。

7月13日(土) (10:00受付開始)

## 2050年の公立劇場 シンポジウムと特別セッション

### 特別セッションI 「名古屋都市圏からの文化発信」

10:30~12:00

[登壇者] 森合 康行 (CBCテレビ営業局事業部 部長)  
堀 啓輔 (名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化芸術推進課  
文化施設の企画調整等 担当課長)  
佐藤 友美 (クリエイティブ・リンク・ナゴヤ ディレクター)  
靱山 勝人 (長久手市文化の家 スタッフ)

[モデレーター] 桧森 隆一

### 特別セッションII 「創造空間としての公立劇場」

13:30~15:30

[登壇者] 大野 はな恵 (東京大学大学院総合文化研究科 学術研究員)  
長島 確 (東京藝術大学 准教授、ドラマトゥルク)  
岸 正人 (公益社団法人全国公立文化施設協会 事務局長、専務理事)

[モデレーター] 清水 裕之

### シンポジウム 「公立劇場のサステナビリティ」

16:00~18:00

[登壇者] 渡辺 恵未 (独立行政法人日本芸術文化振興会 審議役)  
勝又 英明 (東京都市大学 名誉教授)

[モデレーター] 太下 義之

7月14日(日) (9:00受付開始)

## 学会員による27の研究発表と3つの討論会

分科会① 9:20~11:05

分科会② 11:10~12:55

分科会③ 14:30~16:15

分科会④ 16:20~18:05

#### 【参加費】

	事前申込み	当日申込み
非学会員(一般・学生)	7月13日(土) 1,000円 7月14日(日) 3,000円	7月13日(土) 1,000円 7月14日(日) 4,000円
学会員(一般)	(両日) 4,000円	(両日) 5,000円
学会員(学生)	(両日) 2,000円	(両日) 3,000円

※学会員になると、予稿集・フルペーパーをダウンロード、7月13日(土)の録画を視聴することができます。入会については右記までお問い合わせください。

#### 【申込み】

7月1日(月)までに、本学会ウェブサイトからお申し込みください。



<http://www.jace.gr.jp/>

#### 【問合せ】

文化経済学会(日本)

E-MAIL: g018jace-mng@ml.gakkai.ne.jp